

【現場除雪事例：H13 北海道 72】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用 / A2:気象情報確認・活用
工事種別	道路工事
工事名称	帯広広尾自動車道 芽室町 帯広JCT改良工事
施工場所	北海道河西郡芽室町西土狩
工期	平成13年6月14日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、ブルドーザー6t、タイヤショベル 1.2m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>除雪箇所の順番を決めて必要最低限の面積を行う。法面部 水平部 集積 運搬(排出)細部は人力を併用し、構造物、施工目的物に支障の無いように注意し、施工の後戻り、補修の施工を無くした。現場内の除雪は配置済重機を使用し、運搬路等共同で使用している箇所は1台の重機を共同で配置し施工を行った。降雪が予想される時には残土の整理、資材の集積等を行い除雪作業がスムーズに行われるようにした。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 39】

除雪工夫分類	B3:機械（機材）の適切な選定 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道277号 熊石町臯月橋下部工事
施工場所	北海道爾志郡熊石町大谷
工期	平成13年8月7日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	ホーキ、スコップ、ママさんダンプ / ミニバックホウ0.2m3、ダンプトラック4t
現場除雪の工夫・留意点等	河川敷地が近くにあったので現場内に集積し、置ききれないものについては4tダンプにより土捨て場の隅に運搬した。機械による除雪が困難なため新雪のうちに人力で除雪した。日々の除雪作業は重労働となるので除雪スコップはプラスチック、アルミ製の材質にした。降雪前に施工箇所を狭めて除雪箇所を減少に努めた。



新雪時除雪作業

【現場除雪事例：H13 北海道 101】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / F:その他
工事種別	道路工事
工事名称	帯広広尾自動車道 芽室町 大成改良工事
施工場所	北海道河西郡芽室町大成
工期	平成 13 年 3 月 3 日 ~ 平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.2m <sup>3</sup> 、パワーショベル 0.65m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 10 t、ブルドーザ 3 t
現場除雪の工夫・留意点等	盛土作業時は別として、除雪する範囲をできるだけ狭く、1日の施工数量に合わせた範囲としました。また、除雪した雪の処理として春先浸食されにくく、水はけのよいところに集積しました。



【現場除雪事例：H13 北海道 113】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道37号 長万部町 礼文華舗装外一連工事
施工場所	北海道山越郡長万部町字静狩
工期	平成13年7月13日～平成14年3月15日
使用機材 / 機械	スコップ、雪かき用スコップ / タイヤショベル 0.4m <sup>3</sup> 、モーターグレーダ 3.3m 級、路面ヒータ（灯油） バックホウ 0.2m <sup>3</sup> 、ロータリ除雪機、塩カル散布機
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工前日に翌日施工する箇所の除雪（特に端部を重点的に人力で）、施工当日は天候を確認し、クレーダ及びタイヤショベルを使用し除雪し塩カル散布し路面ヒータを使用し路面を乾燥させ舗設を開始する。除雪幅施工幅、施工延長等の数量により、グレーダ、タイヤショベル、バックホウ小型ロータリ除雪機、ロメンヒータ、ガスパーナーを使い分け使用する。片側交互通行での施工の場合は、規制区間全線に塩カル散布機を使用し散布する。</p>
	
路面乾燥状況	

【現場除雪事例：H13 北海道 125】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道38号芦別市上芦別改良工事
施工場所	北海道上芦別市
工期	平成13年10月26日～平成14年3月24日
使用機材/機械	バックホウ、ダンプトラック
現場除雪の工夫・留意点等	工事工程に合せ1日分の施工量分のみ除雪を行うものとしています。雪は一時現場内空地に集積しある程度集積後現場外集積地に運搬を行う。



【現場除雪事例：H13 岩手県 9】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	崎山歩道工事
施工場所	岩手県宮古市崎山地内
工期	平成13年3月13日～平成14年2月8日
使用機材 / 機械	ダンプトラック 2t
現場除雪の工夫・留意点等	歩行者通路の確保。バス停内の除雪施工区域内の除雪(当面施工する範囲)。

【現場除雪事例：H13 岩手県 14】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	主要地方花巻大曲線 川舟地区道路改良工事
施工場所	岩手県和賀郡沢内村川舟地内
工期	平成 13 年 9 月 27 日～平成 14 年 3 月 6 日
使用機材 / 機械	ブルドーザー-D3C、バックホウ 0.7EX200-5E
現場除雪の工夫・留意点等	<p>施工範囲を狭くして当日のうちに完成断面とするように努力していますが、それでも次の日まで作業が継続する場合は、作業ヶ所にブルーシート等を敷いて、人力及び、重機での除雪作業が行いやすいようにしています。</p>
	

【現場除雪事例：H13 岩手県 30】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	主要地方道宮古岩泉線跳石橋地区道路改良
施工場所	岩手県岩泉町字跳石橋地内
工期	平成13年7月19日～平成14年2月13日
使用機材/機械	アルミスコップ、塩化カルシウム 粒状 25 kg / トラクターショベル(ホイール式) FL-302 0.4m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	土工(盛土)にあつては、1日の作業予定ヶ所のみ除雪し融雪する、又作業終了時(夕方)に融雪剤を散布しておき凍結を防止する。舗装工(路盤、基表層)にあつては、土工同様とするが舗設時及び後は融雪剤の使用をしない(基層、表層としてラインの剥離防止のため)。



【現場除雪事例：H13 秋田県 6】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	大川交差点改良工事
施工場所	秋田県南秋田郡五城目町大川下樋口字屋敷下地内
工期	平成 13 年 10 月 18 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	ホイールローダー 0.4m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事区間が一般国道 7 号のため歩道を中心に車道から除雪された雪と一っしょに工事箇所が明確になるよう速やかに処理した。作業スピードを向上のため当日の施工区間を中心に機械による除雪を実施した。工事箇所がせまかったため、小型機械（ホイールローダー 0.4 m<sup>3</sup>）を使用し、一般車輛及び歩行者の通行に支障ないように留意した。</p>



近隣周辺保育園前除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 127】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / B4:シートの活用 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道230号札幌市簾舞改良工事
施工場所	北海道札幌市南区簾舞
工期	平成13年3月23日～平成14年2月20日
使用機材 / 機械	バックホウ0.4m <sup>3</sup> 級、ブルドーザー2t
現場除雪の工夫・留意点等	除雪する範囲をその日、又は明日作業予定区域に限定し、なるべく二度手間にならない様にした。路床部にはシートで覆い、雪の残留を防いだ。使用機械は、作業に使用する機械を用いた。但し歩行者通路の除雪は小型除雪機で行った。



【現場除雪事例：H13 岩手県 25】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / B1:除雪範囲の限定 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道花巻田瀬線谷内峠の2地区道路拡巾(堆雪)工事
施工場所	岩手県和賀郡東和町田瀬地内
工期	平成13年10月9日～平成14年3月15日
使用機材/機械	バックホウ 0.7m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.2m <sup>3</sup> 、バックホウ 0.18m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 4t、ダンプトラック 2t
現場除雪の工夫・留意点等	シート養生を必ずする。作業工程に合わせて、必要な部分ずつ除雪する。できるだけ舗装、碎石、土の部分をだす。塩カルを多くまく。塩カルまきは、肥料散布用を使用する。



バックホウによる現場内除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 130】

除雪工夫分類	B1:除雪範囲の限定 / E:地域住民への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	旭川紋別自動車道愛別町立入防止柵設置工事
施工場所	北海道愛別町
工期	平成 13 年 11 月 13 日～平成 14 年 3 月 27 日
使用機材 / 機械	除雪用スコップ / バックホウ (法バケツ付) 0.45m <sup>3</sup> 級、タイヤショベル 1.2m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	その日のオンカー施工分だけ除雪する。(凍上する為) 用地境界上での作業となるので除雪の雪は、隣地に入れないよう徹底指導している。



施工場所除雪状況